



令和5年度 学校評価に関するアンケート結果について

大寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に対しまして、あたたかいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、11月中旬に実施いたしました「学校評価に関するアンケート(保護者・児童)」の集計結果をお知らせいたします。お忙しい中、ご協力くださりありがとうございます。

本年度は、5月に新型コロナが5類に移行され、行事や教育活動も戻りつつあるなかでのアンケートとなりました。昨年度と比較して改善された項目、改善されなかった項目等、その要因を分析し、次年度の里浦小学校の学校運営並びに児童のよりよい学校生活につなげていきたいと考えております。今後とも、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校評価結果より(児童アンケート結果も含めての考察)

1 結果の概要

【保護者アンケート】

肯定的な回答(「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答)が90%を超えているものが28項目中10項目、80%未満のものが9項目でした。また、3つの新項目では、下記26・27に加えて、28「学校は、保護者や地域の願いに応じた教育活動を進めようとしている」91.0%と高く、本校教育活動及びPTA活動へのご理解をいただいていることに感謝いたします。引き続き、皆様のご意見をいかした教育活動に取り組んで参ります。低い項目15・25については、児童が夢や目標を持てるようキャリア教育を充実させて参りたいと思います。

○肯定的な回答が高かった主な項目

※()は、昨年度との比較

- | | |
|---|---------------|
| 8 子どもがよいことをしたときは、積極的に褒めている | 97.3% (+1.2%) |
| 26 学校は、里浦ならではの人材や施設、環境をいかした特色ある教育活動を行っている | 96.4% (新項目) |
| 14 子どもは、人のことを大切に、友達と仲良くしている | 95.5% (-0.6%) |
| 27 学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるよう、安全指導や安全対策を行っている | 94.6% (新項目) |

○肯定的な回答が低かった主な項目

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 15 子どもと社会や将来のことを話し合っている | 58.5% (-10.3%) |
| 25 子どもは目標をもって生活している | 63.0% (-2.1%) |
| 9 子どもは何事にも粘り強く取り組む | 65.7% (-1.0%) |

【児童アンケート】

肯定的な回答が90%を超えているものが30項目中13項目、80%未満のものが4項目でした。下記1・10より児童の教員への信頼が高まりつつあることを嬉しく思います。低い項目23については、読書活動の充実や新聞を活用した学習等により意欲を高めて参ります。

○肯定的な回答が高かった主な項目

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| 23 いじめなどは、どんな理由があってもいけないことだと思う | 97.6% (+0.5%) |
| 22 避難訓練などは、真剣に取り組んでいる | 96.7% (-1.9%) |
| 1 先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれる | 95.9% (+1.1%) |
| 10 先生は、勉強や運動、生活でがんばったときほめてくれる | 93.5% (+2.4%) |

○肯定的な回答が低かった主な項目

- | | |
|------------------------|----------------|
| 27 子ども新聞や本をふだんから読んでいます | 63.9% (-4.5%) |
| 3 テストでは、思い通りの点数が取れている | 71.3% (-3.0%) |
| 18 地域の行事などに参加している | 73.7% (+13.4%) |

2 学校経営基本方針についての考察

(1) 人権尊重の精神と豊かな心の育成

※()は、昨年度との比較

○楽しい学校づくりについて

児童 20「学校へ行くのが楽しい」 80.3% (-5.7%)

保護者17「子どもは、楽しんで学校に行っている」 87.4% (-3.3%)

本年度の学校スローガンは、「みんなで創ろう 瞳がキラキラと輝く学校」ですが、児童・保護者ともに、昨年度より肯定的な回答が減少しており、誰もが楽しい学校には至っていません。この結果を重く受け止め、要因や次年度に向けた改善点を検討し、教職員集団で真摯に取り組んで参ります。児童の思いや保護者の願いに寄り添い、きめ細やかな指導・支援をベースとして、全ての児童が「学校が楽しい」と思えるよう、尽力して参ります。

○自己肯定感について

児童 9「自分には、よいところがある」 82.0% (+0.4%)

28「めあてや目標をもっている」 83.6% (-0.1%)

肯定的な回答は、昨年度とほぼ同じです。「自分のよさ」の認識には、「成功体験」による「やればできる」という心情、「称賛」による喜びや自信、「感謝のことば」による有用感等、様々な要素があります。学校生活のなかで、児童への言葉かけや働きかけを進めるうえで、ポジティブな行動支援の手法をベースとして、学校全体で継続的に取り組み、「自分のよさ」の認識を高めて参りたいと思います。

【ポジティブな行動支援：望ましい行動を効果的に教え、称賛により、主体的な態度や行動を育てる】

保護者 8「子どもがよいことをした時は、積極的に褒めている」 97.3% (+1.2%)

10「子どもが粘り強く取り組めるよう家庭でも応援している」 91.9% (-3.4%)

上記回答より、ご家庭でお子さんを褒める意識や行動が定着しています。今後、保護者の皆様との連携をさらに深め、お子さんの自己肯定感の醸成に向けて、家庭と学校が双方向から称賛をベースにしたポジティブな働きかけを進められるよう、取り組んで参ります。

○いじめ問題・相談体制について

児童 19「先生は、困ったり、悩んだりしたときに、相談にのってくれる」 92.6% (+5.1%)

保護者20「学校は、いじめや生徒指導の問題について、素早く対応してくれる」 83.8% (-5.3%)

児童の肯定的な回答は増加しましたが、保護者の皆様の肯定的な回答が減少しています。いじめをはじめ生徒指導上の問題解消には初期対応が重要であるため、学校の対応が十分でないことを認識し、改善に努めるとともに、教員と児童、児童相互のコミュニケーションを軸にした豊かな人間関係づくりに努めます。保護者の皆様が安心して通わせられる学校づくりに向けて、「校内いじめ防止対策組織」の活動の工夫改善に努めて参ります。

(2) 確かな学力と体力の定着

○確かな学力の定着について

児童 1「先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれる」 95.9% (+1.1%)

2「漢字や計算の力がついてきている」 84.4% (-2.3%)

3「テストでは、思い通りの点数が取れている」 71.3% (-3.0%)

5「授業中、人の話を集中して聞いている」 86.9% (-1.4%)

保護者2「学校は、わかる授業のための授業研究や授業改善に取り組んでいる」 90.1% (-0.6%)

3「学校は、基礎的な学力定着に熱心に取り組んでいる」 86.5% (-1.8%)

5「学校は、子どもの学習規律の定着に取り組み、効果を上げている」 89.2% (±0%)

6「子どもは、家庭学習(宿題)をきちんとしている」 91.8% (+1.9%)

確かな学力の定着にかかわる設問では、児童の「わかる授業」への評価が高まっていますが、児童自身が学力向上を実感することには結び付かず、肯定的な回答が昨年度より減少しています。保護者の皆様からは、全般的に肯定的な回答が高めで一定の評価をいただいておりますが、減少項目もあり、さらなる授業改善が求められる結果となっています。ご家庭での学習支援を十分にいただいているなか、児童の学力向上と定着に向けて、タブレットを効果的に活用した個別最適な学びと児童相互の対話的な学びの充実に努め、「よくわかり、学力が定着する授業」づくりに向けて、工夫改善に取り組んで参ります。

○体力づくりについて

児童 4「進んで運動し、体力づくりをしている」 91.8%(+9.4%)

保護者4「学校は、子どもの体力づくりに取り組み効果を上げている」 82.9%(−7.0%)

本校では、業間・昼休みの外遊びや雨天時の体育館使用等、積極的に運動する児童が多く見られます。また、体育授業での水泳検定やなわとび検定への挑戦のほか、上学年では、体操・水泳・陸上等の放課後練習に自主的に参加するなど、児童自ら体力の向上に努めています。今後、全校体育や下学年児童の体力づくりに向けたアプローチについても検討して参ります。

児童 14「朝は、決まった時間に起きている」 83.6%(+4.3%)

保護者23「私(保護者)は、早寝・早起き・朝ご飯が習慣づくようにしている」 90.1%(−5.3%)

児童の肯定的意見が増加した背景には、ご家庭での働きかけがあったおかげだと思えます。睡眠時間は、健全な成長はもとより、心理的な安定のために欠かせず、朝ご飯は、体温を上げて体と脳を活性化させるために必要です。毎日の生活リズムを整えることが体力向上の土台となります。今後、ほけんだよりや学級での保健指導、健康集会を通して、さらなる指導の充実を図って参りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

(3) 命を守る教育の充実

児童 22「避難訓練などは、真剣に取り組んでいる」 96.7%(−1.9%)

保護者19「子どもと防災のことに、家で話し合っている」 66.6%(−6.3%)

児童の肯定的な意見は、3年生以上では、ほぼ100%であり、下学年に低い傾向が見られています。防災教育の充実を図り、訓練は自分の命を守る大切な学習であるという意識を育てていきたいと思えます。保護者の皆様の肯定的意見が減少している要因として、コロナ禍により防災訓練と授業参観の一体的な取組が実施できていなかったことが想定されます。次年度は、自主防災会主催の「里浦町津波避難訓練」のほか、夏季休業中に実施していた「家族避難訓練」等、保護者の皆様も参加していただける行事(訓練)を実施し、ご家族で話し合う機会を設けていきたいと思えます。地震や津波に対して「自分の身は自分で守る」意識と行動ができる児童に育てていけるよう、学校・家庭・地域の連携を軸に取り組んで参りたいと思えます。

(4) 地域への愛着と誇りを育む活動の充実

児童 29「里浦町が、好きだ」 91.4%(−1.9%)

18「地域の行事などに参加している」 73.7%(+13.4%)

保護者26「学校は、里浦ならではの人材や施設、環境をいかした特色ある教育活動を行っている」 96.4%(新項目)

今年度は、コロナ禍で中止していた地域行事(公民館祭、廻り踊り、囲碁ボール大会等)も戻ってきたうえ、JA里むすめフェスのようなイベントも行われ、地域行事への参加についての意見も大幅に伸びています。里浦町の一員として行事やイベントに積極的に関わろうとする態度を育てられるように、地域の産業・伝統文化・防災・自然等に触れる機会や学習を充実させ、「里浦町が、好きだ」の肯定的意見(郷土愛)をさらに伸ばしていけるよう取り組んで参ります。

※ 今回の学校評価アンケートでいただいた貴重なご意見をもとに、今後とも努力して参りたいと思えます。

なお、学校評価アンケート(児童・保護者)の全項目データについては、里浦小学校ホームページに公開していますのでご覧ください。



ホームページ QR コード

